



柳沢中学校通信

朱雀の翼

のびる学校 つながる学校 元気がでる学校

西東京市立柳沢中学校
校長 浅野 周子
電話番号 042-463-5014
FAX番号 042-462-3104
令和8年6月24日 第3号



6月のテーマは

そんちょう 尊重

私たち一人ひとりは、かけがえのない存在です。自分を大事にすると、自分の心や体を傷つけないこと。他者を尊重すると、相手の心や体を傷つけないこと。この二つは、いつも表裏一体です。ところが、ついやってしまいがちなのが「噂話」や「陰口」をすることです。

なぜ人は、人の話を話題にしてしまうのでしょうか。その場にはいない人の失敗、噂、ちょっとおもしろいと感じたこと。話している間はみんなで笑って、場が盛り上がった感じがします。それは、本当に楽しいことなのでしょうか。想像してみてください。あなたが一生懸命頑張っていること、誰かに相談した悩み、ちょっとした失敗…それが、知らない間にクラス中で広められていたら。

胸が締め付けられるような、いたたまれない気持ちになりませんか。

実際に、そんな思いをしている生徒が、この学校にもいるかもしれません。

本当の友人や仲間とは、どんな存在でしょうか。目の前にいる人を大切に、その場にはいない人のことも守れる人です。「面白ければいい」「みんなが笑うから」という理由で、誰かの尊厳を踏みにじるのは、決して友情、仲間とは言えません。

それは一時的な盛り上がりでしかない、脆い^{もろ}関係です。噂を広める行為は、いじめの種にもなります。小さな陰口が、だんだん大きくなり、相手を学校に来たくない気持ちに追い込み、笑顔を奪ってしまう。「ただの話」「冗談だったのに」と思っている、傷ついた心は簡単には癒えません。

第55回運動会は、同じ目標に向かってクラスの人たちと協力して頑張ったことで、団結力や絆の深まりを感じられた人も多かったことでしょう。クラスで一つになるために、本当に必要なものは何だったでしょうか。派手な声援や勝ち負けではなく、「お互いを尊重し、守り合う心」ではないでしょうか。

「その場にはいない人の話はしない」

「困っている人や友達の噂を広めない」

「面白くても、誰かを傷つけることはやめる」

これが、本校が目指す「尊重」です。

自分も他人も大切にできるクラスになれば、もっとみんなが居心地のよい柳沢中になります。

そして、さらに毎日が安心して過ごせる学校になります。一人ひとりの言葉が、誰かの心を明るくも暗くもします。

「その場にはいない人の話はよそう」と、心に決めてください。SNS や LINE でも人のことは話題にしないでください。

お互いを思いやる心を大きく育て、素敵な大人になっていきたいですね。



OnePointQuiz

昨年度から、西東京市の取組とともに、本校でも生徒会を中心に取り組んでいる「いじめゼロ宣言」について、先日アンケート調査を行いました。「自分がされて嫌なことは何ですか？」に対して最も多かった回答は【言葉による攻撃】として「悪口」「陰口」「暴言」「しつこいいじり」「あおり」、次に【関係性の排除】として、「無視」「仲間外れ」でした。さて、次はどのようなことが多かったでしょうか？

こういうことをする人がいるのですね。答えは裏面のどこかに書いてあります。→



第55回運動会



本校の運動会は、生徒一人一人が本気で取り組むことで生まれる「本気度」と「迫力」が最大の魅力です。普段の授業では見られない、真剣な眼差しと全力疾走する姿に、心を打たれました。グラウンドに響いた応援の声、息をのむような接戦の全員リレーやそれぞれの学年種目に魅了されました。

何より素晴らしかったのは、練習を重ね、お互いを支え合い、うまくいったときに喜び合っている姿がたくさん見られたことです。勝敗を超えた「みんなで一つの目標に向かう」経験は、貴重です。また、本校の運動会は「一人一役」を全員が担う共同制作の場でもあります。時には、選手となり、時には、準備係、記録係と役割を担います。自分ができることを精一杯やり遂げることで、「自分はチーム柳沢中の一員だ」という所属感が生まれます。誰かのために頑張ることが自分の成長にもつながることを、自然に学べるいい機会となり、この行事で達成感を感じたり、少しでも成長できた人が増えたらいいです。

閉会式での生徒一人ひとりの「やりきった」という表情を嬉しく感じました。努力の過程で得た自信や仲間との思い出は、きっとこれからの学校生活、そして人生の大きな糧となることでしょう。

保護者の皆様、地域の皆様にも、ぜひご来場いただき、生徒たちの輝く姿をご覧いただきまして、ありがとうございました。心温まる一日となりました。

セーフティ教室

副校長 小西 貴也

先月、体育館にてセーフティ教室を行いました。『スマホ・ケータイ安全教室、中級コース』の動画を見ながら、スマートフォンやインターネットの正しい使い方について学びました。「炎上」「ネット依存」「ネットで知り合った人とのトラブル」の3話構成の動画を視聴しました。スマートフォンやインターネットを通じてトラブルに巻き込まれるケースは減りません。自分事として捉え、取り返しのつかない事態になる前に危機管理意識をもってトラブルを回避しましょう。

保護者との意見交換会では、便利な道具としてスマートフォンを使用している反面、画面を見ている時間が長いこと、見えない相手との関りの難しさ、トラブルがあっても表面化されにくいことなど、子どもたちの使用を不安に思っている保護者も多数いました。

これからの情報化社会を生き抜く若者には、スマートフォンの正しい使い方をぜひ身に付けてください。



挨拶は、人とつながる魔法の言葉

本校では、隔月で「あいさつ運動」を実施しています。5月は、「社会を明るくする運動」と併せて地域の方、保護者の方や保谷第二小学校の児童の皆さんと一緒に3か所の門に立ちました。挨拶レベルを4段階に分けて自分がどのレベルにあるかを考えたり、4月9月1月の月間のテーマ「あいさつ」を意識したりして、参加者が増えていくといいです。

今回のあいさつボランティアの生徒は58人でした。生徒会、生活委員会を含めると80人を超える生徒が参加しました。各人の温度差はあるものの、自分からあいさつをする生徒が増えていることは嬉しいです。

※次回のあいさつ運動は

7月8日(火)から11日(金)です。

おはよう ☺
「あいさつ」は
人とつながる
魔法の言葉

多摩特研球技大会に参加しました I 組

I組の6人は、柳沢中での初めての運動会を終えて振り返りもままならない中、バスケットボール大会に参加し栄えある1勝を達成しました。

運動会での大縄跳びで300回を超えるパワフルな姿も記憶に新しいですね。先日保谷中学校での練習会での成長ぶりにも驚きましたが、今回の1勝も大きな成長の先に勝ち取った価値ある「1勝」と言えます。試合を重ねる度にみんなの動きがよくなり、来月の移動教室の取組も始まり、今後の6人の成長ぶりが楽しみです。

